

洪水(荒川・名田川・内水)氾濫・土砂災害
ハザードマップ 10



凡例

○	災害対策本部	⊕	土のうステーション
🏠	防災倉庫	🚰	多摩川洪水氾濫想定区域内と土砂災害警戒区域にあり要配慮者利用施設
🏠	地区防災倉庫	🚰	それ以外の要配慮者利用施設
🚒	消防署・消防団詰所	🚇	アンダーパス
🚓	警察署・交番	🚇	地下施設
🏠	指定避難所・指定緊急避難場所(優先的に指定される避難所)	🚰	水門
🏠	指定避難所・指定緊急避難場所(状況によって開放される避難所)	🚰	水路ポンプ施設
🏠	指定緊急避難場所	📷	河川監視カメラ
🚗	車両避難場所	📊	水位観測所

早期の水平避難が必要なエリア

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 河川が氾濫した場合の浸水区域
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 急傾斜地の崩壊(げけ崩れ)
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土石流
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

マップ 9

洪水(荒川・名田川・内水)氾濫・土砂災害ハザードマップ

洪水(荒川・名田川・内水)氾濫・土砂災害ハザードマップ

土のうステーション(7カ所)

愛宕土のうステーションに加え、新たに浸水深の想定が高い地域6カ所に土のうステーションを設置。

▶所在地は3ページ

土のうなどを使った浸水防止

低い地域や地下施設などは浸水の危険がある。浸水の防止のために、土のう、止水板、排水設備(ポンプ)などの準備をしよう。

プランターやポリタンクをレジャーシートで包んで防止。

止水板、箱を組み合わせて防止。

浸水深の想定と目安

5.0m以上	2階の天井以上まで浸水するおそれがある
3.0m~5.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまで浸水するおそれがある
1.0m~3.0m未満	1階の床上から1階の天井まで浸水するおそれがある
0.5m~1.0m未満	1階の床上まで浸水するおそれがある
0.1m~0.5m未満	1階の床下まで浸水するおそれがある

早期の水平避難が必要

ペット同行避難について

災害時の備えとして、日頃よりマナーのあるペットの飼育を心がけよう。被災時には一時的に飼えなくなることも想定し、親戚やペットホテルなど、ペット仲間への預け先も確保しよう。また、車両のまま避難できる「車両避難場所」への避難もご検討ください。(所在地は3ページ)



- 大原則は同行避難
 - ◆必ずペットと一緒に避難する。
 - ◆事前に避難所とペットの同行が可能か確認する。
- 避難所における飼育について
 - ◆避難所では、動物の好きな人、嫌いな人、アレルギーを持った人など、様々な人が集まります。
 - ◆同じ部屋や場所に避難できません。
 - ◆飼い主以外の人とも上手にコミュニケーションをとり、ペットが受け入れやすい環境を作ろう。
- 普段からの心構え
 - ◆ペットの習性や性格にあった飼い方を心がけ、健康を保とう。
 - ◆また、狂犬病注射(犬)、ワクチン、ノミなどの寄生虫の駆除を行おう。
 - ◆ペットと離れ離れにならないように、身元表示をしよう。
 - ◆基本的なしつけを身に付け、避難所でも興奮しないようにコントロールしよう。

